※　教育委員会・学校では児童が登校時に歩くことを重要と考え取り組んでいきます。

☆　児童が登校時に歩くことは成長のチャンス！

・体力が付き、肥満傾向にある児童において、その改善に役立ちます。
・歩く過程において、生き物や草花を観察する、匂いを嗅ぐ、音を聞き温度を感じるなど、四季を身体で感じることができるため、五感が刺激されることにより脳が活発に働き、脳の発達を促します。
・危険なことを感覚で覚え、交通安全の意識が高まり、地域の方々との関わりも生まれます。
・集団登校により異学年交流が促進され、リーダーとなる高学年児童には責任感や思いやりが育ちます。
・雨、風、雪に負けないで登校するという気持ちが育ち、学習や物事に粘り強く取り組めます。
・歩くことにより、ポンプの役割をする足から大脳に血液が回り、頭の働きが活発になります。

キ　リ　ト　リ

（平成 31 年1月３１日までに担任の先生に提出をお願いします。）

※登校スクールバス平成３２年度運行路線案について、Ａ健康教育・教育効果　Ｂ教育課程編成　Ｃ停車場の指定　Ｄスクールバスの民間委託　Ｅその他※通学時のトラブル対処について等、保護者の皆さんのご意見をお聞かせください。

教育委員会・筑北小学校・坂井小学校